

# ガタ民改革

第10号

発行日：2012年9月20日(木)

文責：苫小牧東高等学校 生徒会執行部環境部会

## ◎これからも……

北海道新聞 9月19日 第3巻 掲載物 10/12

### 道内きょう要請終了

政府・北海道電力が要請した2010年夏比で7%以上の節電が、14日終了する期間初日の7月23日から9月13日にかけての1日の最大電力需要の平均値を10年と比べた削減率は約8%、節電目標を上回るとは確認された。

一方、供給力の実績は当初の想定を大幅に上回った。泊原発後志管内泊行は3基全てが停止していたが、緊急停止された電力不足には陥らず、供給が極度に逼迫した場面に備えた計画停電も回避される見通しだ。

(関連記事3、8面)

# 目標超す8%節電

### 原発なしで乗り切る

節電期間中の最大電力需要と気温の推移

※最大電力需要、最高気温とも平日の平均値  
※最高気温は札幌

北電は、泊原発の停止(6.7%)と、12年夏の一週間の最大電力需要の平均値は43.3万kw、10年夏は47.0万kwの平均は4.7万kwの平均は約8%減少した。

止が続き、この前提になる試算、冬の最大電力需要の平均値は43.3万kw、10年夏は47.0万kwの平均は4.7万kwの平均は約8%減少した。

足すとしている。また、今夏の電力需給状況で、12年夏の一週間の最大電力需要を北電が公表しているデータを用いて10年間の需要は8月22日の46.3万kw、10年夏の50.6万kwと比べ、8.5%減少となった。

9月13日までの節電期間中の札幌の平日の平均気温は27.8度で、猛暑だった10年同時期の28度と同等の暑い夏だったが、道民や企業の努力で節電が順調に進んだことが分かる。最大供給力を45.5万kwに達したにもかかわらず、供給不足は平均5.0万kwにとどまった。北電は「このままでは、北電は今夏、北本連が停止する恐れがある」と懸念を示している。供給力が不足する恐れがあったら、北本連(最大出力26万kw)も停止する恐れがある。北本連は「最大出力を26万kwに抑え、供給力が不足する恐れがあったら、北本連も停止する恐れがある」と懸念を示している。

受電量の減少が、また、伊達、砂川両火力発電所の公営防止(予備率7%)、計画要請は9月25日まで続行される見通しだ。

先週、9月14日で北海道電力からの節電要請期間が終了しました。しかし、北海道の冬は暖房器具などで本州よりも使用電力が増えると予想されます。したがって、節電の取り組みはまだ終わったわけではありません。何度も言っていますが、節電は地球環境を守ることに役立つのです。電力不足だけに対応するものではないのです。ですから、これからも節電にご協力ください。左は、9月14日付の北海道新聞の1面に出ていた記事です。北電からの節電目標は7%でしたが、それを上回る8%の電力が削減されたということです。ちなみに、我が校で節電の取り組みを始めた5月から先月までの電気使用量の削減率は、昨年と比較して約3%の節電に成功しました。しかし、まだまだ節電できると思います。いや、節電してください。その月の電気使用量は数字になって現れます。去年より減っていたら、わくわくしてきませんか？わくわくしているのは私だけですか？もしそうならば、みなさんと一緒にわくわくしませんか？今後も節電の取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

← 9/15付 北海道新聞より

**広告欄**

## ボランティア部 部員募集中！

特に難しい活動ではないです。

少しでも興味がある方は、1-5星または職員室 中田先生、地学兼物理準備室の西村(真)先生まで！

### ◇飾男の部屋◇ NO.8

9月15日付の北海道新聞に、環境部会の取り組みが取り上げられました。先日は苫小牧民報に掲載されたので、苫小牧市民のほとんどが「ガタ高=節電」という目で見るということです。もっと節電をしなければいけませんね！一緒に頑張りましょう。

また、新しく広告欄を作ったという話を前号でしたところ、早速ボランティア部からの依頼がガタポストに入っていました。その他の方も、何かありましたらガタポストまで。

(内容によっては掲載されない場合もありますので、予めご了承ください。)

**9月の電気使用量 27,000(kwh)を下回るように頑張りましょう！！**